



平成 30 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャックス
代 表 者 名 取締役社長 板垣 康義
(コード番号 8584 東証第1部)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 山崎 徹
(TEL 03-5448-1311)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2018年度から2020年度までの3カ年を対象とする第13次中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2017年度を最終年度とする第12次中期3カ年経営計画「ACT-Σ (アクト・シグマ)」では、「日本を代表する先進的なコンシューマーファイナンスカンパニー」というビジョンの実現に向けて、「グループシナジー」「先進性」「CSR」の3つの重点方針にグループ一体となって取り組んでまいりました。その結果、国内はもとより海外における収益基盤は、着実に拡大し、IT投資効果の極大化やコスト構造改革に取り組んできたことで、経営体質が強化いたしました。さらにCSRの観点では、ガバナンス強化や働き方改革を推進し、グループ全体で着実に成長することができたと考えております。

新たにスタートする中期経営計画では、これまでの取り組みをさらに進化させ、長期ビジョンである「アジアのコンシューマーファイナンスカンパニーとしてトップブランドを確立する」の実現に向かい、「国内事業の持続的成長」「海外事業の成長拡大」「生産性の向上と成長基盤の強化」を重点方針とする経営戦略を実行し、さらなる成長拡大を図ってまいります。

レイズ ニセンニジュウ

第13次中期3カ年経営計画 「RAISE 2020」(2018年度～2020年度)

1. 中期経営計画ビジョン

日本・ASEANをメインフィールドとし お客さまに選ばれる先進的なコンシューマーファイナンスカンパニー

(三菱UFJフィナンシャル・グループの一員として、取り巻く環境の変化を敏感にとらえ、安心・安全で利便性の高いファイナンスサービスをタイムリーに提供することにより、日本・ASEANのお客さまや加盟店のニーズを満たしている。)

2. 重点方針

(1) 国内事業の持続的成長

- ▶ クレジット事業をはじめとした国内主力事業は、さらなる営業の効率化と生産性向上、事業間・グループ内の連携を強化することにより、収益の拡大を図ってまいります。
- ▶ 決済市場の拡大を成長機会と捉え、カード・ペイメント事業へのリソース投入により商品開発力と推進体制を強化し、多様な決済サービスの提供を通じて事業拡大を図ってまいります。

(2) 海外事業の成長拡大

- ▶ 成長ドライバーである海外事業は、ベトナム・インドネシア・フィリピンのさらなる利益拡大と、カンボジア及び新たな進出国の事業基盤の構築など、ASEANにおける事業拡大を図ってまいります。
- ▶ 海外関係会社においては、内部統制システムの整備やガバナンス強化を図ることで盤石なグループ管理体制を構築するとともに、システム・経理面などの支援態勢を強化してまいります。

(3) 生産性の向上と成長基盤の強化

- ▶ 三菱UFJフィナンシャル・グループとの連携強化により、収益基盤・財務基盤など経営基盤のさらなる強化を図ってまいります。
- ▶ 継続的なIT投資によるトップラインの拡大と、AIなどの導入による業務効率化を加速させ、グループベースでのコスト構造改革や業務改革の実行により、高い生産性の実現を目指してまいります。

3. 計数計画

(億円)

連結	2018 年度	2019 年度	2020 年度
営業収益	1,478	1,555	1,695
経常利益	127	145	161
親会社株主に帰属する当期純利益	82	95	106
ROE	5.5%	6.1%	6.5%

(億円)

単体	2018 年度	2019 年度	2020 年度
営業収益	1,257	1,322	1,399
経常利益	100	109	111
当期純利益	68	75	77

なお、当中期3カ年経営計画における連結配当性向につきましては、30%を目安として安定的な利益還元に努めてまいります。

以 上